

会議結果報告書

1	会議名	第2回戸別収集実験事業意見交換会（海岸地区）
2	日時	令和7年10月5日（土）10:00～11:00
3	場所	茅ヶ崎市立図書館 第1会議室
4	出席者	（資源循環課）垣内課長補佐、八幡主任、尾崎主事 （海岸地区）参加人数：3人
5	内容	<p>資料に基づき、第2回戸別収集実験事業意見交換会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前回の意見交換会で伝えた問題点から、追加して新たな問題点はない。 ● 燃やせるごみのステーションにごみ出しがされてしまうかと思っていたが、そんなことはない。綺麗なままである。 ● 高齢世帯であるため、燃やせるごみが戸別収集になっただけでも、非常に楽である。 ● 収集時間の変更について、心配したほどずれもなく正確な時間に収集してくださっている。当初は3人ぐらいで収集されていたが、現在は2人で収集しており、改善しながら収集している様子が確認できている。 ● プラごみの違反ごみが目立つようになった。プラごみも戸別収集にしてほしいが、戸別収集の対象品目が増えると税金などが上がる恐れがあるため心配である。 ● 商店の方から意見を聞いたが、事業系の指定袋が高すぎる。しかし、ごみ収集の専門業者に収集をお願いすると、それよりも高い金額を要すようであり、事業系の指定袋の金額は妥当なのではないのかなとも思う。 ● カラスイケイケを閉めていても、たまに燃やせるごみをステーションに出されることがある。戸別収集をしていることを知らずに出すのか分からないが、開けられないように、紐で縛って注意喚起の掲示をすると出されなくなる。 ● ごみ出しする場所が、「燃やせるごみは自宅の敷地内」「燃やせないごみは燃やせないごみのステーション」「資源物は資源物のステーション」と3つとなっても苦情やトラブルは発生していない。ごみ出しする場所が増えたことよりも、燃やせるごみだけが敷地内に出せるようになって楽になったことの方が、よいと感じている。 ● アパートなどの集合住宅が、単独でステーションを設けるようになったことも、ステーションの維持管理負担が軽減した要因かもしれない。

- 環境指導員として、ステーションで問題となっていると感じているのは、プラごみである。プラスチック製容器包装類以外のこどものおもちゃや洗濯バサミなどのプラスチック製品を出す人や、悪質なものを出す人もいる。戸別収集になれば、誰が出したか分かるようになり、適正排出を促すことができるのではないか。
- ステーションが残り続けてしまうと、本当に悪い人は、そこにごみ出しをする。やるなら、全部の品目を対象に戸別収集をする必要がある。
- プラごみのステーションは、飽和状態である。集合住宅は、集合住宅で収集するとなれば、その問題も解消することはできるのではないか。
- 戸別収集の収集日を週に1日増やせば、収集経費は増えるか。
→ そのとおりである。
- アパートの居住者が不正なごみ出しをしていたことが発覚した場合、どのように対応しているか。
→ 居住者宅に訪問するケースもあれば、管理会社に指導を徹底するように連絡するケースもあると確認している。
- アパートで単独のステーションを設置された場所は、いつも綺麗である。しかし、前日からごみ出しをする方もいる。ネズミを見るようになったのも、前日のごみ出しが原因かもしれない。
- ごみ有料化は、ごみ処理施設の整備などに経費がかかることを見越して実施しているのに対して、収集経費がかかる戸別収集を実施しようとしているのは、変じゃないかと思う。
- ごみ有料化の検討とあわせて戸別収集を検討していたが、ごみ有料化とあわせて戸別収集を実施することは見送られている。そんな中、現在改めて戸別収集の実施を検討されているのは、何か状況が変わっているからなのか。
→ 戸別収集を導入しようという考えは以前から変わっていない。ごみ有料化を導入してから4年目となり安定的に制度を運用することができているため、改めて戸別収集の導入検討を行っている。
- 市民や事業者が購入している指定袋の代金は、ごみ処理施設の整備などに使用されているか。また、将来的にも確保することができているか。
→ そのとおりである。
- ステーションの維持管理が偏っている状況が長く続いており、その方が対応できなくなってしまうたら、どうなるか分からない。ステーション収集は、住民の善意で成り立っているが、それがいつまで成り立つかも分からない。

- 将来的なことも考えると、戸別収集がよい。
- 今の若い人は、道路にポイ捨てする人は多くない。塀の上などに、かんやペットボトルを置く程度である。
- 周りの人も戸別収集を継続してほしいという意見が多い。戸別収集を実施することで予算のことなど懸念することはあるが、スマートフォンが普及したように、ウイルスなどの懸念することがあったとしても、その利便性を忘れることはできない。
- 高砂幼稚園から駅に向かう道の途中にある駐車場に隣接しているステーションの状況があまりよろしくない。以前よりかは綺麗になっているが、駅からの通り道であるため、維持していただきたい。
- モバイルバッテリーは市で回収しているか。
→ 基本的には、回収していない。市内にある回収協力店に持ち込んでいただきたい。回収協力店で回収することができないものについては、臨時的に、環境事業センターもしくは資源循環課の窓口で回収している。

以上